

「日本で働き続けたい」

優秀外国人 建設就労者 特定技能5人表彰

国交省

国土交通省は7日、東京都内で第5回「優秀外国人建設就労者表彰（不動産・建設経済局長賞）」の表彰式を開いた。中国、カンボジア、ミャンマー、ベトナム国籍の受賞者5人が出席（うち1人はリモート参加）。受賞者の在留資格がいずれも特定技能だったのは初となる。長橋和久不動産・建設経済局長が賞状を授与した。



4カ国の受賞者たち

表彰式で長橋局長は「皆さんには日本と本国の架け橋になってもらいたい。お互いの国の建設業の未来がより明るいものになるよう、これからも日本でたくさんのご活躍を学び、日本人

と外国人が共に手を取り一緒に現場を支えていってほしい」とさらなる活躍に期待した。

受賞者も喜びの声や今後の目標、後輩へのメッセージを日本語でコメントした。コンクリート圧送職種のオウ・ヒ氏（国籍・中国、受け入れ企業・コンクリートポンプ）は社内では若手職長の筆頭として活躍中。「特定技能2号になり、家族を呼んで日本で働き続けたい。登録基幹技能者の取得を目指したい」と宣言した。

建設機械施工職種のソン・シナット氏（カンボジア、岡興産）は仕事場の周りにあふれる豊かな四季の魅力に触れ、「四季がある

日本で笑って仕事できることが幸せ」と話した。表装職種のソー・カッソ・モウ氏（ミャンマー、兼藤）は、日常会話も難しかった来日当初のつらさを振り返りながらサポートしてくれた同僚らに感謝を伝え、「クロス技能検定の1級を取りたい」と技能向上に意欲を見せた。

左官職種のチョウ・ライ氏（中国、ヒコサカ）は着実に現場で技術を磨き、今後は特定技能2号を目指している。「初心を忘れず会社に貢献できるよう一生懸命頑張る」とコメントした。鉄筋施工職種のファム・ズイ・フン氏（ベトナム、堀江鉄筋工業）は技能実習生として来日し「光と闇を味わった」。その中で前向きに、諦めない大切さを学んだと語り、後輩たちに「一生懸命努力するほど運が味方する」とエールを送った。